

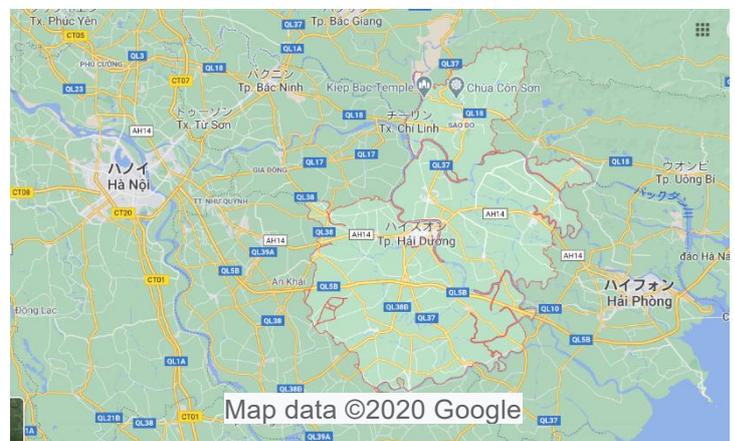
地方病院へ HIV モニタリングネットワークを更に拡大！
地方省紹介シリーズ①ハイズオン省編

11 月 25 日に行われたプロジェクト会合の様子を前号プロジェクトニュースでも紹介しましたように、我々プロジェクトの HIV 治療モニタリングシステムはカバー範囲を拡大してきました。これまでメインカウンターパートである国立熱帯病病院（NHTD）、ハノイ市内の 3 つの病院とクアンニン省総合病院で同システムを活用してきましたが、2021 年からは更に北部の 6 地方省で活動を展開していくことになります。本年度前半は新型コロナウイルスの影響で国内出張もままなりませんでしたが、ベトナム国内での感染が収まりを見せる中、活動拡大に向けて 2020 年 11 月から一気にプロジェクトの地方行脚が始まりました。

というわけで、ここからのニュースレターでは少し趣向を変えまして、これから協力を開始する地方病院を、その地域の特徴と名産も併せながら紹介していきたいと思います。シリーズ第 1 回はハイズオン省です。

ハイズオン省はハノイから東に約 75km、港町ハイフォンに至る道の途中にあります。人口は約 200 万人、農業を中心としつつ、ハノイ・ハイフォン両方にアクセスしやすい地理的条件から、今後の更なる工業発展も期待されている地方です。

このハイズオン省で今後協力をしていくハイズオン省熱帯病病院は、2018 年 10 月に前身となるハイズオン省 HIV/AIDS 予防センターから発展してできた病院です。現在は HIV/AIDS を始め、多くの感染症を扱う病院となっています。ハイズオン省でも 8 月には省内のハイズオン市が「社会隔離」（事実上のロックダウン）を強いられるなど、2020 年は新型コロナウイルス感染症対応にも追われる大変な一年を送りました。そういった時期がありつつも、今は状況が大分落ち着き、今回の病院訪問と今後のプロジェクト活動を議論するに至ることができ、是非プロジェクトに参加したいとの声を頂くことができました。



国立熱帯病病院（NHTD）の皆さんと一緒にハイズオン省を訪れ、プロジェクト内容を説明し、参加の意向を確認します



ミーティングを終えて、ハイズオン省熱帯病病院の皆さんと記念写真

そんなハイズオン省では、仕事の合間に地方特産グルメも満喫。すっぽん（唐揚げ、鍋）、鶏肉と色々食べました（笑）。特に鶏肉の美味さは絶品。鶏肉料理屋といえば、「Gà Mạnh Hoạch」という名前は、ハノイでもあちこちで聞く有名地鶏ブランドですが、調べてみると実はハイズオン省が発祥の地とのこと。道理で鶏肉が美味しいはずですね。



ハイズオン省は鶏肉が有名。揚げてよし、蒸してよし、絶品です♪



そしてこちらはすっぽん鍋。写真の見た目はイマイチですが、味はなかなかのもの、そして栄養満点

また、実はハイズオン省はライチやリュウガンといった果物も有名な土地。今回は季節ではありませんでしたが、ライチシーズンとなる5-6月に訪れた際にはその足でライチ狩りができないかなあ、なんて。



あまーいライチはデザートにピッタリ。2020年からは日本にも輸出され始めました。



シーズンになるとハノイでもあちこちでライチが売られています。